

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 ご入居者様からのご意見は、日々の生活の中で職員が聞き取り、速やかに情報共有し対応できているが、ご家族様からのご意見は、来設の方向けのご意見箱の設置のみになっている。	定期的なご意見聞き取り機会の実施	2カ月に1回、来設面談もしくは訪問面談(ご家族様が時間が取れない場合には電話)にて、ご家族様からのご意見を聞き取る機会を確実に作る。 [4月・6月・8月・10月・12月・2月]	6ヶ月
2	23	○思いや意向の把握 ご入居者様本人からの意向聞き取りは出来ているが、ご家族様からの(ご本人が思っているかもしれない事の聞き取り等)サポートをいただく機会が少ない。	思いや意向の共有	前項の機会に、“ご入居者様・ご家族様の思いや意向”を、ご家族様とともに共有し、フロアカンファ等で全職員へ確実に伝え、ケアに反映する。	6ヶ月
3	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング 介護計画において重要な“モニタリング”に関して、更なる現場目線の導入で、よりご入居者様に寄り添ったものにする必要がある。	介護職員主導のモニタリング実施	今までは、モニタリングは管理者(ケアマネ)が実施してきたが、モニタリング実施を介護職員主導とし、管理者(ケアマネ)と協働しながら実施する。	6ヶ月
4	34	○急変や事故発生時の備え 急変時や事故発生時に、速やかに対応できない職員がいる。	容態急変時・事故発生時初期対応研修および訓練の実施	全職員対象に3カ月に1回以上、訪問看護師を講師として急変時・事故発生時対応研修および訓練を実施する。スキルの低い職員については、個別実施しフロアリーダーと管理者がアセッサーとして評価し、3カ月で対応可能になるまで継続する。	3ヶ月
5	37	○日常的な外出支援 日常生活の中で、すべてのご入居者様が散歩・外気浴を充分にできているとは言えない。	日常生活(週間計画)の中で、外気浴の時間を計画的に取り入れる	全入居者様の日常生活において、1日1回外気浴(散歩だけでなく、花の水やりや短時間の散策等も含む)を実施する。 天候やご本人の意向は必ず考慮する。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。